

琴海の夢・風 6月号

コロナ禍の中、力の限りを尽くして競技した中総体・・・賞状を伝達しました・・・

6月12～14日、19～20日に行われた長崎市中総体。練習が思うようにできなかったとは思いますが、出場した皆さんよく頑張りました。結果については、安心メールでお知らせしたとおりです。特に、卓球男子が団体戦において昨年に引き続き第3位という結果を残してくれました。応援生徒は学校でオンラインによる参加となり、直接会場での応援ができませんでした。撮影した機器が原因で映像がスムーズに送られなくて、見にくかったようですが、雰囲気は感じてもらったと思います。以下賞状を伝達した生徒をお知らせします。

- 卓球男子団体3位 (代表 末田さん)
 - 陸上競技 男子3年1500m 第2位 中村さん
 - 陸上競技 低学年100mハードル 第2位 天田さん
 - 水泳競技 女子共通100m 自由形 第1位 宮野さん
 - // 女子共通50m 自由形 第2位 宮野さん
 - // 女子共通400m個人メドレー
第3位 田添さん
 - // 1年男子50m自由形 第3位 久原さん
- ※長崎市中学校春季卓球選手権大会 男子団体3位の表彰も併せて行いました。(代表 岡部さん)



監督からのことば・・・試合を終えて・・・ 今回応援に行くことができなかった保護者の皆さんもいらっしゃると思います。そこで、各部活の顧問に試合を終えての所感等を書いてもらいました。紹介します

卓球部顧問 寺園です。会場ではコロナ対策をしながら、競技中以外はマスク着用、午前・午後の間で換気等を行っていました。生徒もコロナ対策をしながらスポーツマンシップに則って戦っていました。

顧問としては事前の生徒への連絡等、当日の動きなどは比較的スムーズにいったと思いますが、保護者さんの動きに関してもう少し事前把握しておくべきでした。

今回は生徒の日々の頑張りが市中総体3位という結果に結びつき本当に良かったです。県大会に向けての練習と心構え、それ以降の残った生徒たちの動き、次期主将の決定など生徒と考えながら決めていきたいです。

女子ソフトテニス部 顧問 今田 市丸

1日目は雨天延期となり、学校で他の競技をリモートで応援しました。普段見ることのできない、仲間たちの一生懸命戦う姿に勇気をもらい、翌日からの試合の活力となりました。

2日目に個人戦がありました。直前の練習では、緊張している様子が伝わってきましたが、テントに戻ってくると笑顔が見られ、少しずつ活気を取り戻していきました。各ペアの試合開始時間が近かったため、なかなかお互いに応援しあうことはできませんでしたが、試合の前にはお互いに「頑張ろうね」と声を掛け合い、士気を高めました。どの試合も、今の自分たちが出せる精一杯の力で戦い抜くことができました。強敵である東長崎中や三重中にも粘りの戦いを見せ、「今までで一番いい試合だ」と自分たちで思える試合ばかりでした。

3日目の団体戦では、今まであまり対戦したことのない淵中と一回戦で戦いました。最後まで粘り続けましたが、惜しくも勝ち星を取ることはできませんでした。

最後のミーティングでは、負けて悔しかったこと、今までこのメンバーでやれてよかったこと、2年生に頑張してほしいことなどを話してくれました。高校でも続けたいという言葉も聞けてうれしかったです。

女子バドミントン部 顧問 大町 西川 3年生にとっては最後の中総体。激励式でキャプテンが述べた「魅力的な選手になる」を合言葉に、特に3年生からは熱い思いがひしひしと伝わり、最後まであきらめない、素晴らしい試合内容でした。その姿を通して、今までお世話になった指導者の方々、家族、仲間への感謝の気持ちを十分に伝えられたと思います。そして、1・2年生は先輩たちの姿からたくさんものを学んだと思っています。中総体が終わって3年生が引退し、新チームになりました。今年の中総体では悔しい思いをし、涙を流したことを忘れないでほしい。今の自分に足りないものが何かを自覚し、日々挑戦し続けてほしい。来年は自分が納得のいくパフォーマンスができるように、目標をもって練習に打ち込むことが勝利につながり、「魅力的な選手になる」ものと期待しています。そして、琴海中バドミントン部のよき伝統をつないでほしいと思います。

男子バスケットボール部顧問 久田 山本

3年生にとっては、最後の中総体。今の3年生は、小学校からのミニバス経験者が少なく、中学校に入学してから、『一緒にバスケットボールしよう!』と仲間を募るところからスタートしたと聞いています。そんなスタートから、最後の中総体まで、本当に、予測できないような、さまざまなことがあり、思うように練習が進まない葛藤や課題をみんなで乗り越えていきながら、一人ひとりの成長も、それからチームとしての成長もあったことを感じます。

中総体は、梅香崎中が相手でした。初めて戦う相手に、緊張も気合いも高まる中での初戦。声も積極性も、試合開始から、今までで一番発揮でしたが、惜しくも61対78で負けてしまいました。

必死で、がむしゃらに頑張ってきたからこそそのたまらない悔しさ。涙があふれる中で、仲間への労いの言葉、支えてくださった方への感謝の行動ができた選手の姿がありました。

試合直後、最後の試合に出ることが出来なかった3年生の仲間と一緒に、まず駆け寄り『ごめんね』と頭を下げるキャプテンの姿にもスポーツマンシップを感じました。

これから新チームになりますが、選手たちが真のスポーツマンとして、周囲の支えに気付き、感謝をしながら、大切な仲間と最高のチームをつくれるようサポートしたいと思っています。

VRC (ボランティア・ロボコン・クラブ) 活動紹介

西彼農業高等学校の校長先生が観葉植物を持ってきてくださいました。高校生の皆さんが育てられたものです。なんと!市丸校長先生は、琴海中学校の卒業生ということで、3年生の全クラス分を特別にくださいました。教室に飾って生徒たちの心を癒してくれています。

その西彼農高から花の苗を買って、ボランティア部がプランターに植え、バス停に並べています。



7月行事予定

日	曜	行 事
1	木	全校朝会 生徒会評議員会
2	金	
3	土	土曜授業 授業参観育友会 学年・学級育友会
4	日	
5	月	生徒総会 リハ
6	火	
7	水	「被爆体験講話」
8	木	生徒総会 高齢者への暑中見舞いはがき作成
9	金	平和ナシム出前講座
10	土	
11	日	
12	月	学級専門部会 第1回学校保健委員会
13	火	給食訪問～15日まで
14	水	琴海中学校特別支援教育説明会 15:10～16:45 生徒会評議員会
15	木	生徒朝会 県中激励会
16	金	
17	土	
18	日	家庭の日
19	月	読み読みの時間 大掃除
20	火	終業式
21	水	夏休み
22	木	海の日
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	県中総体～27日
26	月	「二面談・三面談」
27	火	「二面談・三面談」
28	水	「二面談・三面談」
29	木	「二面談・三面談」
30	金	「二面談・三面談」
31	土	

琴海の夢・風 6月号2

女子バスケットボール部 顧問 吉田 西島

中総体まで・・・

3年生が新チームになったばかりの一年前…。彼女たちは、一つ上の先輩が3名しかいなかったため、2年生のころから主力選手として随分試合に出場してきました。下級生として先輩を十分に支えつづけたものの、いざ自分たちの代となりスタートしましたが、技術的な指導をしてくださるコーチ不在のスタートでした。

自分たちでメニューを立て、上手くいっているのかいないのかも手探りで、私たち顧問の力ではどうにもならない毎日が続いていたと振り返ります。この1年間、数少ない試合でしたが、初めてのコヤスポカップ。そして続く会長杯。いずれの試合も、ベンチからの指示はほぼ無い状態で、大人も子供もみんな不安な試合でした。その自信のなさがゆえ、試合の流れはいつも焦って力を発揮できずに終わる…といった感じで、高く掲げた目標への道は果てしなく遠く思えました。それを見るに見かねた前任の指導者だった沖島先生が手を差し伸べてくださり、さらに琴海の子どものためにと引き受けてくださった山田コーチが加わり、リスタートしたのが10月ごろでした。

本来ならば、夏に力を蓄えてこれから多くの実践へという時期だったかもしれませんが、うちはようやく秋ごろスタートラインに立ったという感じで、基本的な動きの確認やチームスタイルを見出す段階。だとしても、今までの環境からすれば、生徒たちの目は輝きを思い出し、先生やコーチ・保護者や顧問に何とか応えて自分たちのベスト8という目標を実現しようと本気になってバスケットに向き合っていました。

その後の練習試合、公式戦、カップ戦など一戦一戦で何かをつかんで成長していった子どもたち。色んな問題も、大きな壁となって立ち足はだかっていたのですが、決して逃げませんでした。その健気さを、見ていて本当に頭が下がる思いでした。1回戦を勝ち上がることも難しかったチームが、中総体前には1回戦は楽に自分たちらしくプレーして勝てるようになっていたのです。

新チームになってから始めた、生徒と顧問のやり取りバスケノートは3冊目のページをめくっていました。中総体2日間・・・

多くの方に支えられて当日を迎えた私たち女子バスケットボール部。初日、当日もちろん朝練です。そこにももちろん多くの保護者。いつもどこへでも何も言わず見守ってくださった保護者の方々。やはり当日も思いは一つ。「子どもたちのために！」でした。

生徒の様子も昨年とは全く違っていました。2年生だった去年は、状況も助長してか…青ざめた緊張した顔でいた人たちだったのに！今年の顔はほどよい緊張の中にも、晴れやかな清々しい「これから目標を達成するんだ！」という決意の顔になっていました。1年生も2年生も先輩を支えようと、応援や周囲への声掛けにも余念がありませんでした。誰もいないグラウンドの真ん中に19名で円陣を組んで、青空に向かって「カッキー」とポーズをとって気合をいれました。第1戦！梅崎中学校との闘い。4クォーターずっとリードをとり、91対21の大差での勝利で2日目へ続きました…。

2日目は6時30分からシュート練習。今日は、決戦の日！目標のベスト8になるためには今日の1戦を勝ち進まなければなりません。小雨が降っているので、ピロティーで円陣。この日の円陣は、保護者と藤崎先生も交えた大きな円陣！お父さんもお母さんも選手も先生もみんな勝利を誓ってバスに乗り込みました。

2回戦は強豪片淵中学校。1ピリ13対22。がんばれ！ 2ピリ27対46。負けない！ 3ピリ41対66。ここで負けてたまるか！ 全員あの1年前の情けない顔を見せることは一度も無く、最後の1秒まで歯を食いしばって、笑顔で仲間を励まして、あきらめない美しい姿を私たちに見せてくれました。

4ピリ58対89。試合終了。コートの中真ん中で手を顔に押し当てて初めて思いがあふれ出た彼女たち。

よく頑張ったね！よく本当に頑張ったね。その一言しかありませんでした。

学校に戻ってピロティーで最後のミーティングとなりましたが、みんなで大泣きしました。悔しさや達成感、感謝や安堵感、いろんな涙が溢れていました。

改めて、結果よりも過程の大切さや、仲間がいることの大切さ、数々の困難が人を成長させることに気づかされた中総体でした。私たち顧問は本当に素晴らしい生徒に恵まれ幸せな経験をさせてもらったと3年生に感謝をやみません。これを見た後輩たちにも新たなドラマが待っていて、先輩たちの後に続いていくのだと信じています。

